

マンスリー 多文化サロン

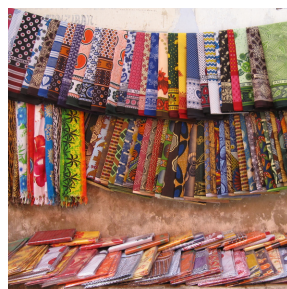


言語学のフィールドワークから 見えてきたアフリカ

アフリカ大陸では約2,000もの言語が話されています。スワヒリ語のように国を超えて1億人近い人々によって話されているような言語もありますが、ひとつの民族や村でしか使われていない小さな言語も少なくありません。そのような言語の研究のために現地に行って調査をおこなうと、言語のことだけでなくその言語を話している人々の生活や世界観が見えてきます。タンザニアやナミビアでおこなった言語調査から見えてきた「アフリカ」を紹介します。

米田 信子（大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授）

東京外国語大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。専門は言語学、アフリカ諸語。主な調査地はタンザニアとナミビア。



今月から会場が
阪大箕面キャンパス
になります！

【日時】2022年4月21日（木）19:00-20:00
【場所】大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室
大阪府箕面市船場東3丁目5-10
またはオンライン（参加者にはリンクをお知らせします）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります。
【お申込受付】2022年4月5日（平日9～17時 4月18日×切）
下記のURLまたは右記のQRコードの登録フォームにて
<https://forms.office.com/r/MZMEk7CtfP>
または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013
✉ genbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp
※19日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。
【参加費】無料

APRIL 2021

OSAKA UNIVERSITY
NEW MINOH CAMPUS



👉 登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部
協力：みのお市民活動センター